

地域特性を活かした空き家の利活用

学生デザイン
コンペティション
2024

Student
Design
Competition
2024

主催 (一社) 鳥取県建築士会 青年・女性合同委員会
協賛 (一社) 日本建築学会 中国支部鳥取支所
協力 琴浦町、(株) 建築資料研究社/日建学院

地域特性を活かした 空き家の利活用

デザインコンペの狙い

総務省の調査によれば、2018年の日本の総住宅数は6,242万戸で、2013年に比べて179万戸(3.0%)増加し、その内、空き家数は846万戸(13.6%)で、2013年に比べて26万戸(3.2%)増加しています。

また、鳥取県においても、2018年の住宅の空き家数は39,400戸(15.3%)で、全国平均を上回っている状況であり、自治体が空き家対策において苦慮している実態がうかがえます。

このように、増加し続ける空き家の利活用に関して多くの自治体では、実態把握を終え、空き家バンク等が存在するものの、自治体の人員不足もあり、あまり効果的に運用されていません。

また、課題は空き家に留まらず、小学校や保育施設の統廃合により旧施設の利活用が定まらないケースも多くあります。

以上のことから、第8回目となる「学生デザインコンペティション2024」においては、改題を広義に捉え、実在する旧保育園を題材に、その地域特性を活かした利活用を計画することを求めます。

設計条件

鳥取県東伯郡琴浦町に実在する旧保育園（現在は接続する公民館と一体利用）について、その地域特性を活かした利活用を計画すること。

対象は旧園舎・園庭・プール・駐車場とし、公民館は対象外とします。

応募資格

鳥取県内の高等学校並びに高等教育機関等の建築系あるいは住居系の学科に在籍している方。

チームは4名以内で構成し、同一人物が複数のチームに参加することは認めません。

応募状況

応募作品 20組
 内訳 個人7作品
 グループ13作品

参加人数 40人

参加校 4校
 内訳 鳥取大学
 鳥取短期大学
 米子工業高等専門学校
 産業人材育成センター

入賞作品

最優秀賞 1点
優秀賞 2点
奨励賞 4点
地域特別賞 1点
アイディア賞 1点
古布庄まちづくり協議会会長賞 1点

審査委員 (敬称略)

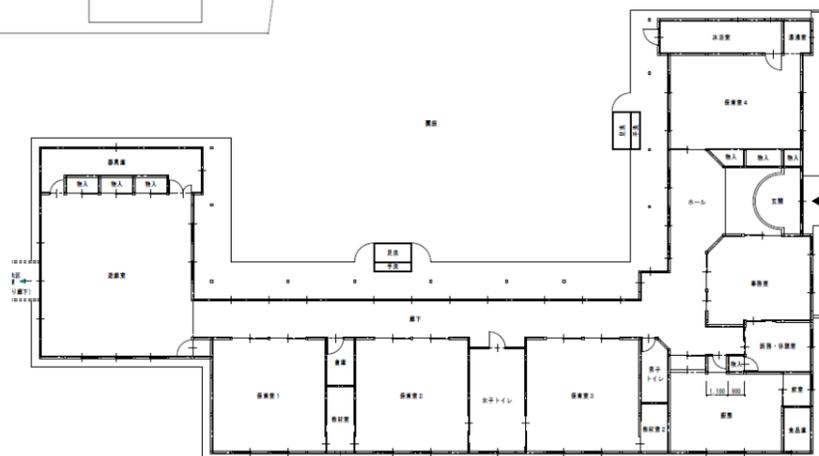
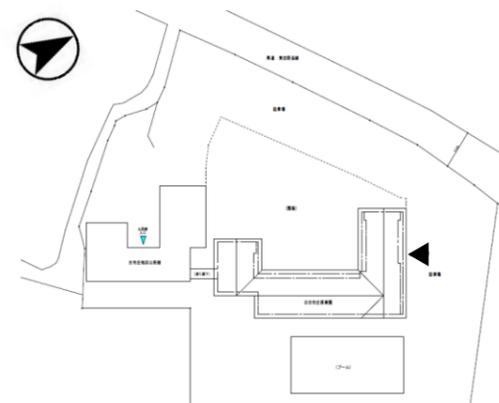
委員長 長谷川 義明
 (公社) 鳥取県宅地建物取引業協会 会長

委員 張 漢賢
 (公立) 鳥取環境大学 環境学部 教授

委員 松山 久
 (一社) 鳥取県建築士会 会長

設計対象物件

このしょう
旧古布庄保育園 (鳥取県東伯郡琴浦町古長186番地1)



古びた手書き図面を手に取り30数年ぶりに訪れた旧古布庄保育園は、特に改修などはされておらず当時のままの姿でした。木造の構造体もすこぶる元気で、これからも現役でやるぞと言わんばかりでした。

より長く人々に使ってもらえる利活用を提案するこのデザインコンペは大変意義のあるもので、知恵を絞っていただいたすべての応募者の皆様に感謝を申し上げます。

使わなくなった箱ではなくて、建物が有用に活用され長く社会的役割を果たすことを大いに期待したいと思います。

「古布庄保育園新築工事」設計監理担当者 ワタリ総合設計 亘 寛之

最優秀賞

ふれあいと癒しの舎 “思いっきりくつろぎ、思いっきり活動する”

国立米子工業高等専門学校
武良悠花 金森環莉 田原里桜 野津一番

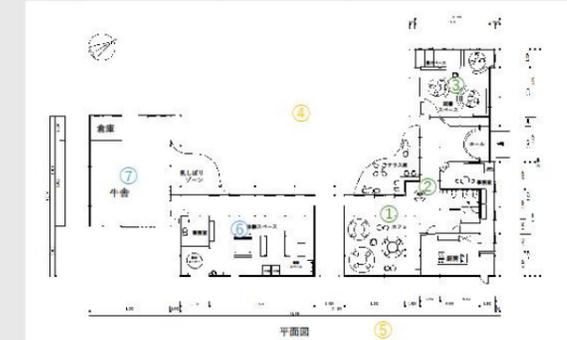
最優秀賞



● 建物を分ける

コの字型となっていた建物を中間地点で分断させ、道を通し、2つの棟とする。こうすることでプールとの関係が強くなるとともに、ファサードの印象もより立体的になる。またトンネルのようなことで奥に何かがあるかもしれないという、建物の奥にある景色を覗かせる効果を持ち、森の中に誘われているような感覚を味わうことができる。ただ単に建物自体を分け、それぞれの空間を離すのではなく、通路を介して緩やかにつながりを持たせながら空間を分ける。建物を分けることでこうした効果を、既存の構造や外構はほとんど変えることなく与えることができる。

そして2つの棟は、動物との触れ合い、野菜の収穫、調理ができる“ふれあいの棟”と、カフェや図書室がありゆっくりできる、“くつろぎの棟”の2つの機能に分け、1つの建物で2つの異なる空間を楽しむことができる。



建物西側 ふれあいの棟

メインターゲット...子どもたち

- ⑥ 体験スペース
- ⑦ 牛舎

建物東側 くつろぎの棟

建物東側 くつろぎの棟

メインターゲット...若者、子連れ、地域の方々

- ① カフェ
- ② 販売コーナー
- ③ 図書スペース

建物北側

④ 園庭広場

建物南側

⑤ テラス・アスレチック

くつろぎの棟では、テーブルの上にグローブが設置され、自分だけの小さな空間を確保できる。



● トンネルを抜けると

トンネルを抜けるとプールの高低差を活用したテラス・アスレチックが広がる。ボルダリングや滑り台、円形デッキの上、下で遊んだり、動物と触れ合ったりするのもし。円形デッキ、ハンモックの上でゆったりとしたくつろぎのもし。活動と休憩が入り混じる風景を琴浦の大自然が包み込む唯一無二の空間。



① カフェ

グループで仕切られたイートインスペース。高からは新鮮な果実、カウンターにできたてのパンなどが並んでいく。牛舎とれる自家製の牛乳や卵、野菜を使ったメニューを提供する。特にフレンチトーストとプリンが絶品。プール側の窓からは美しい緑の木々とアスレチックではしゃぐ子供たちの姿が目に入る。ゆったりとくつろぎたい空間。



② 販売コーナー

家にあるエントランスからカフェスペースまでの動線上に設置。自家製パンやお菓子、ジャムなどの販売コーナー。L字型に飛び出た平面を活用し、グループで飲んだカフェが隣にあるような連帯感をなくしつつ、シンボリックな存在となっている。



③ 図書スペース

本を読むのももちろん、話をしたり、ボードゲームをしたりできる空間。屋外だけでなく室内でも遊ぶことが出来る。扉には扉を開き、子供たちが地べたに座って絵本を読む静かな空間を設けた。



⑤ テラス・アスレチック

通路（トンネル）を抜けると緑の木々と円形デッキが見えてくる。活動と休憩が入り混じる賑やかな空間。



⑥ 体験スペース

プール横の畑で収穫する野菜などを子供たちが手で調理し、食事をする空間。主にピザ窯で、トートやオープンサンドが作れる。普段食べている食材はここから来るのだから、料理や食事をする楽しさだったりを実感し、学びきっかけとなる空間。



⑦ 牛舎

体験スペースから続くようにして牛舎を配置。家畜生が広がりやすいという屋内外空間から屋外に近い空間への変化がワクワクさせる。ここでは、牛と触れ合うのももちろん楽しみの体験もできる。また、外壁をガラス張りすることで、外からも牛の姿や乳しぼりの様子を見ることが出来る。



④ 園庭広場

プール、牛舎に続くH型の道。この形にすることで、カフェテラス空間、牛が見える牛舎に開いた空間、というように空間分けができる。また、外でも購入できるニートン履きやグリッパスといった楽しい工夫があると共に、子供たちが走り回ったり、イベント時は舞台を立てたりできるような、状況に応じて活用できる広い空間も確保。

KOUNOSYOU

コラボ アート集落プロジェクト始動!

鳥取県立産業人材育成センター
渡部清空 田中瑞紀



④アーティストコワーキングスペース
(共有スペース/プライベートスペース)

アーティストレンタルするコワーキングスペース。大空間の共有スペースとプライベートスペース2室を完備。プライベートスペースではデジタルアートや音楽制作等にも対応できるよう、防音・遮光設備を設ける。アーティストの使用がない場合には町民や企業にもレンタルするなど、地域に開けた空間とする。

KOUNOSYOU コラボ アート集落プロジェクト始動!



②アーティストレジデンス制作・展示スペース

南東のプール跡地を埋め立て、アーティストレジデンス第1弾の制作・展示場所とする。建物を1周することで当館のアートがすべて楽しめる。アート制作にはアーティストだけでなく地域住民や観光客も参加し、「コラボ」で作品を作り上げる。完成後、一定期間の展示を終えたら集落内に配置し、次々と作品を集落内に点在させる。来るたびに別のアート体験ができるため定期的な来館の促進に繋げる。



③展示回廊

個別に展示スペースを設けず、外周を囲む大開口の窓を利用し、アートを展示。作品保護の観点から全窓遮断性・遮光性・紫外線を低減するものを採用。年間を通して自然光の照射の結果、春分・秋分の夕方に東北面の窓に直射の侵入が予想されるため、作品に合わせ、直射が侵入しない夏・冬には絵画や写真等を、春・秋には自然光の照射により作品の陰影を引き出す彫刻を展示するなど、季節により展示内容を検討する。



⑤イベント・ワークショップスペース

大空間に仕切りを設けず一帯のスペースを確保。外にデッキテラスを設け、外でも作業が可能。少人数のワークショップから大人数を収容したセミナーまでフレキシブルに利用できる。作品制作のために誘致したアーティストや地元アーティストのワークショップ、有名アーティストのトークイベントなどを開催。カフェや作品鑑賞が目的の来館者も制作意欲やアートへの関心を高める場とする。



⑥間借りキッチン&カフェスペース

コワーキングスペースに隣接し、レンタル制のキッチンとカフェを設置。机を間仕切りして活用することで交流を生む開けた空間とする。キッチンは短期～長期(2週間～3ヶ月程度)の間借りとし、アーティストとコラボした商品を提供。また、食メアートのワークショップやキーのキャンパスにカナルなクリームで絵を描く等も開催。レンタルがない場合にも常に飲食提供を行うためアートに関連したカフェ商品を開発し、常時販売できる体制を整える。



⑦運営スペース・受付ブース

来館者・利用者の受付や「アートプロジェクトマッチングサイト」「ECサイト」等の運営事務を行うスペース。マッチングサイトでは運営側がアーティスト・企業発・地域住民発などの各プロジェクトをコーディネートし、掲載、コラボを図る。また、県内アーティスト・当施設を利用したアーティストなどが販売可能なECサイトを運営。アーティストの知名度向上と当施設の利用価値向上に繋げる。



※その他補足事項

- 当館にはショップスペースを設けない代わりに展示回廊等に展示してある館内の作品はすべて展示販売品とする。ECサイトとも合わせてアーティストの収益化に繋げることができる。
- 県外から誘致したアーティストの宿泊先については、琴浦町が運営するお話し住宅「琴浦さんち」の利用を想定(車で分/約6km)。

01 地域特性と地域課題

- 古布庄地区は琴浦町の中山間地域に位置し、森林や田畑・川に囲まれた自然豊かな地域である。また人口減少に伴い、地域力の低下・知名度不足が課題となっており、町としても当該地域の交流人口・関係人口の増加を目指している。
- 近年、日本全体としても、地域ブランディングにおいてアートを活用した観光が活性化してきており、観光地を巡る際に「アート」は重要な要素となっている。
- H27年の国勢調査において日本全国の「芸術家」人口は41万人で、約40%が首都圏に一種集中しており、鳥取県内でも芸術家が積極的に活動しようとする動きが必要である。当調査によると鳥取県内にも146人の「芸術家」があり、さらに芸術家としての土台を築きたいと思っている潜在的な芸術家(デザイナーとして勤務している人や副業としている人)にも活動の場を提供し、彼らの知名度・技術向上のための施設が必要だと考える。

02 コンセプト



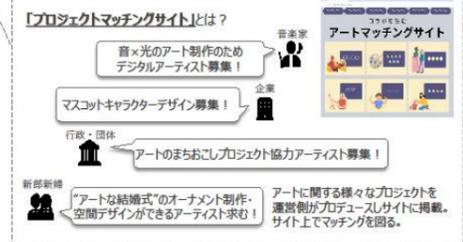
03 プロジェクト概要

- ①古布庄アート集落の形成を目的とし、地元アーティストを軸とし、県外アーティスト・地元住民・観光客・地元企業とコラボ作品を制作・集落内に点在させる。
- ②当施設を右記図の各者の交流を生む場として機能させることで、各者の目的を達成しながら、当地域に携るアートを生む。



04 今後の展望

- 琴浦町は近接する旧古布庄小学校を遊休財産としてサウンディング調査を実施するなど、活用策を検討している。→第1段階として当施設をアーティストレジデンスの拠点として機能させる。軌道に乗り今後、展示スペースや販売スペース等が必要になった場合や設備の拡充が必要となった場合には、第2段階として旧古布庄小学校を活用することも可能。
- アート集落として注目されるようになれば、空き家をリノベーションしたアートで「空き家活用」、「想像力を育むアート教育」、知名度向上の効果で「移住促進」など様々な分野へ効果が波及し、琴浦町全体としての地域力向上が期待できる。
- 古布庄地区を起点としてアート集落を形成し、将来的には琴浦町全域・鳥取県中部・鳥取県全域へ拡大鳥取県のアートの力を底上げすると同時に県内アーティストの活躍の場を全国に広げる。



生活に潤いを注ぐ Calm Lab.

-心穏やかになれる あなたの研究室-

鳥取県立産業人材育成センター
幅田沙織

優秀賞



生活に潤いを注ぐ Calm Lab.

—心穏やかになれる あなたの研究室—

Calm Lab.(カームラボ)とは心と体を落ち着かせる「Calm」と、探求や実験を意味する「Laboratory」を組み合わせた名前です。この名称には、訪れる人々が自然とアロマを通して心身のリラクゼーションと自己探求の両方を体験できる場所でありたいという願いが込められています。

1. 目的

現代は、社会問題としてストレスが顕在化した「ストレス社会」です。ストレスや生活習慣の乱れから心や体に様々な不調を抱えている人も少なくありません。

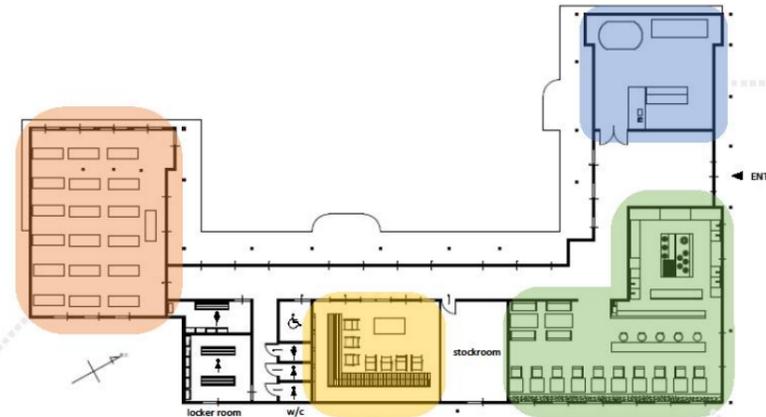
琴浦町では『町の魅力の向上と町民の豊かな暮らし』を目指しており、一向平キャンプ場のフィンランドサウナもあることから、「サウナの本場」「ゆとり・豊かな暮らし」「高い幸福度」「自然と共生」が特徴であるフィンランド文化の理念を取り入れています。そこでフィンランドを手本とした琴浦町の暮らしと豊かな自然に着目し、「ストレス」に自然・アロマ・ヨガ・食の4つのテーマでアプローチをする複合施設を提案します。『琴浦町=日本のフィンランド』と、幸福度の高い町づくりへ寄与することを目指します。人々の五感を癒し、心身をリフレッシュする施設、それがカームラボです。

自然セラピー	ハーブ・アロマセラピー	ヨガセラピー	フードセラピー
琴浦町の豊かな自然の中で癒され、コチゾール(ストレスホルモン)が低下。	自律神経系、ホルモン系(内分泌系)、免疫系に作用。体全体のバランスを整え、心も癒す効果。	身体への効果 免疫力アップ、血流改善によるホルモンバランスの調整。 心への効果 ストレス軽減、セロトニン(幸福ホルモン)の増加。	琴浦町の地もの、ハーブを使った料理・お茶を提供。名産の牛乳などの乳製品には必須アミノ酸のトリプトファンが豊富に含まれているセロトニン(幸福ホルモン)とメラトニン(睡眠を促すホルモン)に変化。ハーブの体のバランスを整える効果と癒し効果。



2. 機能

施設は以下の4つの部屋に分かれています。
主なターゲットを20歳から49歳の女性とし(F1からF2層)
Room 1 アロマの蒸留体験
Room 2 琴浦の地ものやハーブを使った料理やお茶
Room 3 施設で作ったアロマオイルを使ったワークショップ
Room 4 自然の音や香りを楽しみながら行うヨガ
以上の4つをお楽しみいただけます。



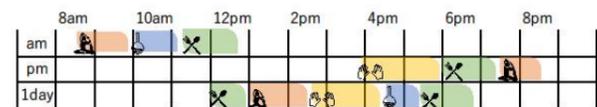
アロマの蒸留所
アロマの蒸留所は全国各地にあります。この鳥取県にはまだありません。地元の果実や施設の庭に栽培したハーブを中心に蒸留させ、抽出したアロマオイルはもちろん、お風呂に入れたり、加湿器に使えるアロマウォーターなどを作り、独自のアロマ商品をブランド化し販売。お客様はアロマの蒸留を見学しながら製品を買うことができます。

アロマヨガ
晴れた休日は芝生の上で朝ヨガをし、自然の音や香りを楽しみながらのヨガをしたり、ヨガルームでは音楽でも自律神経にアプローチをしたり、アロマミストを使ってアロマヨガをお楽しみいただけます。

実験体験
蒸留したオイルやアロマウォーターを使ったワークショップ(手作り体験)で自分の好きな香りのハンドクリームやリップ、バスボム(入浴剤)などを実験しながら作れます。

料理
琴浦町の地ものを使った料理やハーブを使ったお茶を季節やお客様の好みに合わせて提供していきます。ランチ・ディナー・カフェの利用ができ、施設利用者はもちろん、カフェやレストランの利用のみも可能です。

3. 利用スケジュールモデル



上記の図は午前・午後・1日の施設の利用モデルを表しています。

4. 今後の展開

- ・ブランド化したアロマ商品はネット通販サイトで販売。
- ・当施設の利用予約はホームページや専用アプリからも可能にし、パソコンやタブレットで予約管理をする。
- ・一向平キャンプ場のサウナとコラボし、当施設のアロマウォーターを使ったロウリュウを企画。
- ・施設周辺には材料となるハーブや果実の農家もあるので、将来的にはコラボをする事も考えられる。

奨励賞 地域特別賞

トットリート

鳥取県立産業人材育成センター
金田みずき

奨励賞
地域特別賞

トットリートとは・・・
鳥取+リトリート

〈リトリート〉
数日の間、
日常から離れた環境に身を置き
いつもと違った体験を楽しむ。
ゆったりとした空間で
過ごすことで
心身の回復を図る。

都市生活者は、
うつ病や不安障害の
リスクが上昇しており
統合失調症になる率も
非常に高いことが分かっている。
そこで、緑豊かな琴浦町で
自然に包まれ疲れを癒し、
心身ともにリフレッシュする。

そんな心地いい場所が
あったらと思いい
都会生活の方に向けた
リトリートホテルを
思いつきました。

トットリート



客室



保育園の面影を残し、慣れ親しんだ環境でリラックス。

プールがあったところをウッドデッキに改造。
都会ではなかなか見られない山々や畑を眺め、リトリート旅を堪能してください。



ウッドデッキ

庭は鳥取芝を使用。
・芝生の上で過ごす癒され、気分転換に。
・集中力&持続力UP効果も期待。
・土ほこりを抑えられ、転んでも安心。
・夏場は涼しい。 などのメリットがあるのです。

ドッグラン



ドッグラン

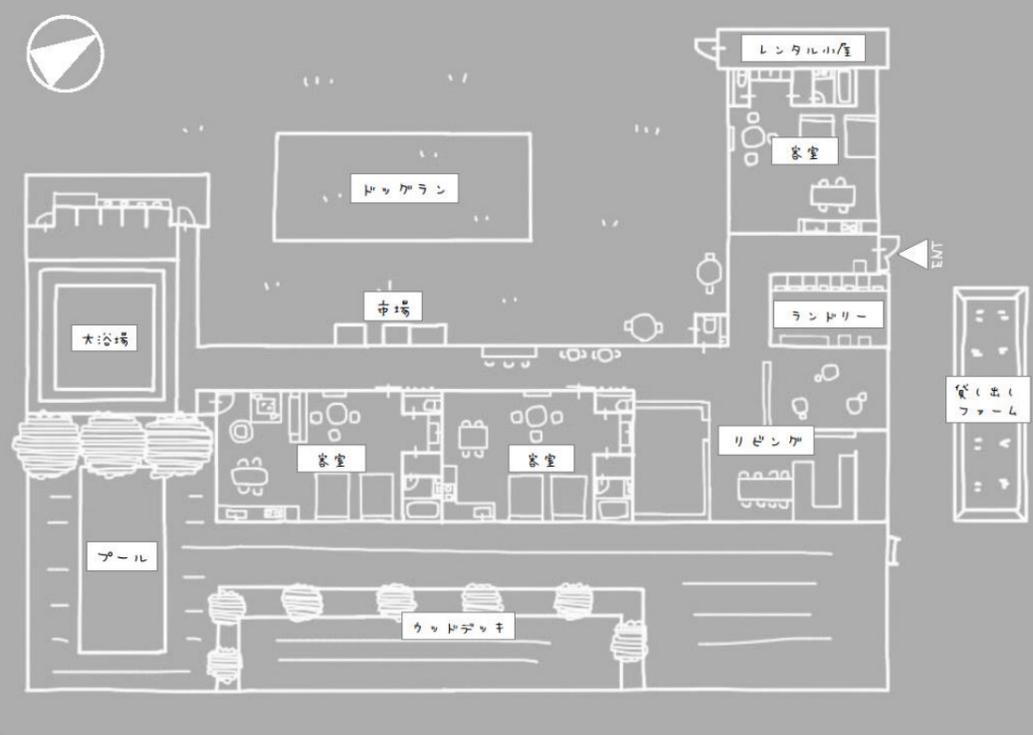
庭にドッグランを開設。
琴浦町の市民の声に応えました。
犬も自然を見ながら走り回り、飼い主と一緒にリトリート。
宿泊者も犬を見て癒され一石二鳥。



水浴場



プール



気のすむまで何泊でも可能です。
琴浦町への体験移住として宿泊してもOK。
これを機に琴浦町で暮らすメリットを実際に体験していただき、琴浦町の人口増加へ繋がればと思います。

レンタル小屋

自転車やBBQセットのレンタルあり。
自然を堪能しながらのサイクリングや食事は都会では味わえないとおきの体験です。
また、巨木コースというウォーキングコースがあります。
千年の時を超えて琴浦町を見守る「巨木」が楽しめます。

出店の場を作り、プチマルシェを開催。
「出店の場がない」という市民の声に応えました。
宿泊者は新鮮な野菜や琴浦町の特産品を購入でき、そこで買ったもので調理も可能。



市場

もともとあった花壇を貸し出しファームとして開放。
琴浦町が目指している「園児のファーム運営」や農園を始めたい方を募集。

貸し出しファーム

星のリゾート 琴の浦

～星を観る滞在型宿泊施設～

鳥取大学
山本優馬 宮崎雄大

星のリゾート 琴の浦

～星を観る滞在型宿泊施設～



内観デザイン



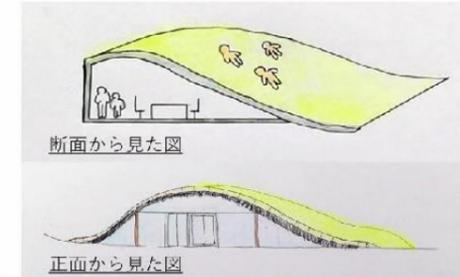
Room:Yamazakura

客室のデザインは琴浦町の木を使うことによって木の温かみや安らぎを感じられるようなデザインとなっている。天井には天窓を設置することで夜には琴浦町の綺麗な星空を眺めることもできる。



建物を貫く木々

建物内に大きな木を設置することで、琴浦町の林業をアピールすると共に、屋内で自然を感じることができる。また、宿泊客に大きなインパクトと木の暖かさ、安らぎを間近で感じてもらえるのではないかと考えている。



mini大山

地面を少し掘り、その上を盛土にすることで緩やかな斜面を作った。盛土をした築山の中では、小さな休憩スペースを提供し、そこで琴浦町の歴史や特産品を展示している。夜には琴浦町の綺麗な星空を寝転びながら眺めることができる。

コンセプト

◆琴浦町の現状

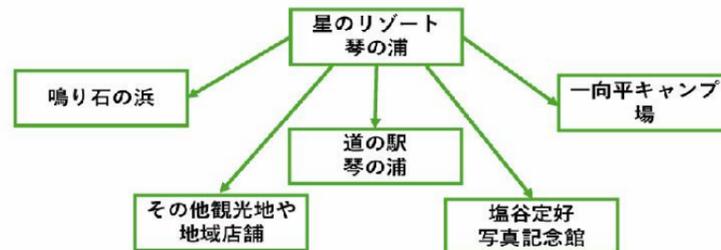
①木材の利用促進

琴浦町では、地域材を一般建築物などに利用することを目的に、方針を定めている。地域産木材を使うことにより、以下の図のような**森林資源の循環利用が可能**となり、森林の保全や、地域産業の活性化にも大きく貢献することができる。星のリゾート 琴の浦はこの方針のシンボリック建築物として存在する。



②観光面での課題解決の一案として

琴浦町の観光面の問題として県外からの来訪者の93.5%が町内へ周遊していない。周遊しているもののうち、動向を多い順に見ると2地点の道の駅間の周遊が非常に多い。ランドマーク的な宿泊施設を建設することで、**観光客の琴浦町での滞在時間が増加し、周遊箇所の増加**が見込まれると考えた。



(参考文献)
1) 琴浦町産木材の建築物等への利用促進に関する方針
<https://www.town.kotoura.tottori.jp/docs/2023083000017/files/r5kaitei.pdf>
2) 琴浦町観光客動態調査の報告について
<https://www.town.kotoura.tottori.jp/docs/2020122500026/files/syyoukoukankou.pdf>

期待される効果

◆琴浦町の良さについてより知ってもらえる
星空の美しさを実体験を通じて感じてもらえることができる

◆地域住民も利用できる場所
ホテル内のレストラン、図書館は地域住民にも開かれている場所なので、地域住民の交流の場としての役割が期待できる。

◆ターゲット



- ・レストランと図書館は地域住民にも開かれた場所となっていて多くの方が利用可能である。
- ・建物を貫くように木が植えてあるのは自然との調和を表現しており、今後も成長し続けてほしいとの願いを込めたものである。
- ・ホテルエントランスは正面をガラス張りすることで開放的な印象を持たせている。

平面図・配置図



奨励賞

工匠の家

-鳥取から始まる新しい林業の在り方-

鳥取大学

小板橋良徳 後藤玲太



工匠の家

-鳥取から始まる新しい林業の在り方-

01. コンセプト

豊かな自然と巨木が多く点在する古布庄地区は巨木の郷と呼ばれている。古布庄には、自然との一体感や自然を破壊しつゝ資源を有効利用する共生の考え方が根付いている。古布庄地区を包含する琴浦町は、町の総面積の60%を森林が占めており、今後、これらの森林の適正な施業を推進していくことが課題になっている。そこで私たちは「自然と共に生きる」をコンセプトとし林業の発展と地域の活性化を図る旧古布庄保育園の園舎の利活用案を提案する。

02. 敷地

古布庄地区を含む琴浦町の南側は大山滝、伯耆の大シイ、船上山などで知られる風光明媚な中山間地で、多くの観光客が訪れる地域となっている。対象敷地の周辺には国指定天然記念物である伯耆の大シイをはじめ、いくつもの巨木が存在する。また、この地域ではスギの育林も多く、植物学上はもとより林学上でも貴重な存在とされている。



03. 水中貯木とは

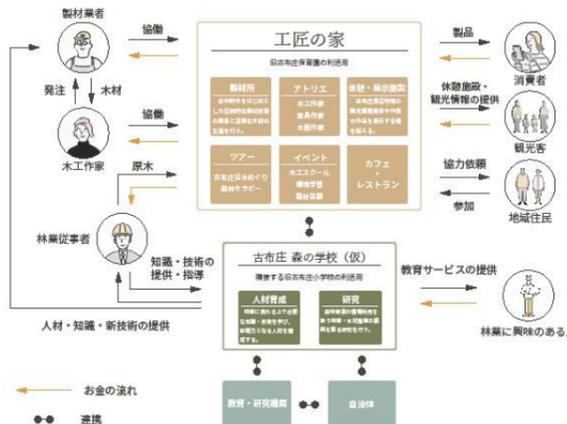
水中貯木は原木を水中に浸水させて乾燥させる方法である。水中貯木は木材の品質を保持しやすく、反りや割れなどを防げるといわれている。また、水中に木材を沈めることで、木材中の不純物を洗い流すことができ、木材の表面も美しく仕上げることができる。

しかし、現代では良質な水質で貯木できる環境が少なく、それだけ時間をかけられる費用も捻出できない。



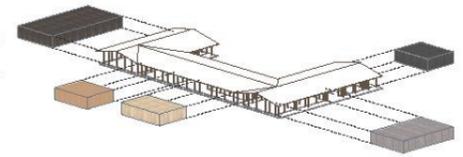
04. 期待される効果・運営方法

水中貯木をはじめとした伝統的な製材技術で木材に付加価値をのせ、さらに木工作家がそうした材で作品を作り販売する。そうして得られた収入は林業従事者にもまわり、林業の6次産業化、さらには地域の活性化にもつながる。

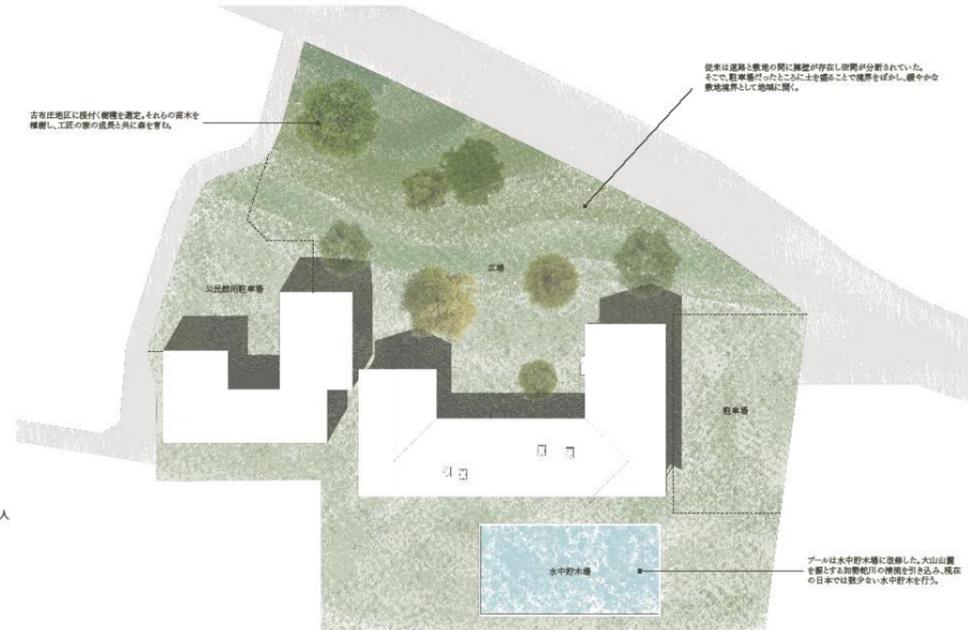
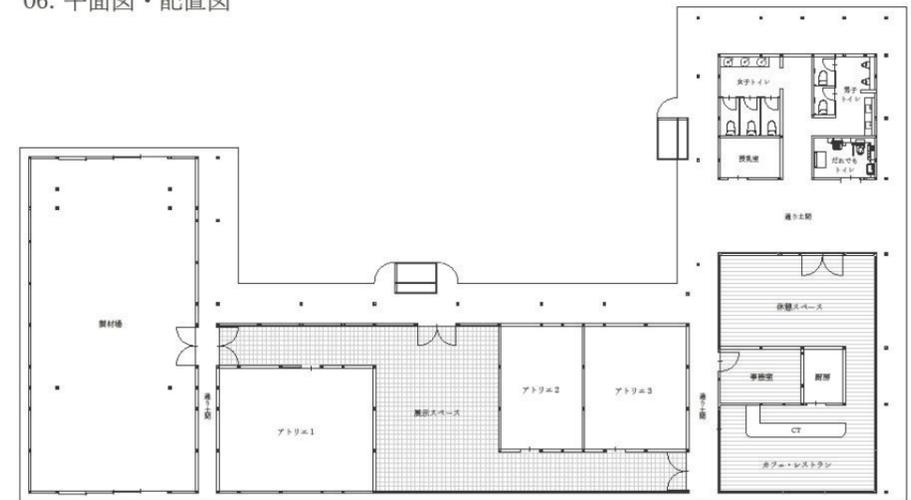


05. ダイアグラム

建物を建物で囲う、入れ子の形式には中心にある大切なものを守る役割がある。時代によって守る対象は変わり、私たちは旧古布庄保育園の建物を守る対象を子供から林業に変えた。園舎は屋根と柱のみを残し、そこに大きさ異なる5つの箱を挿入した。箱の外壁材には、古布庄地区に存在する樹種の木材を使用しそれぞれ異なる色合いになる。



06. 平面図・配置図



07. 外観・内観パース



奨励賞

風薫る庵

国立米子工業高等専門学校
池田真之介



風薫る庵



設計趣旨

この土地は多くの自然に囲まれている。しかし交通の便が悪く人を呼び込むことが難しい。そこで一日一組限定の宿泊施設としてすることで心身共に休めることができる空間を設計した。

外気浴をするのも良いだろう

サウナに入った後

浴室からも景色を眺めることができる

宿泊客や公民館の利用者がくつろげる空間

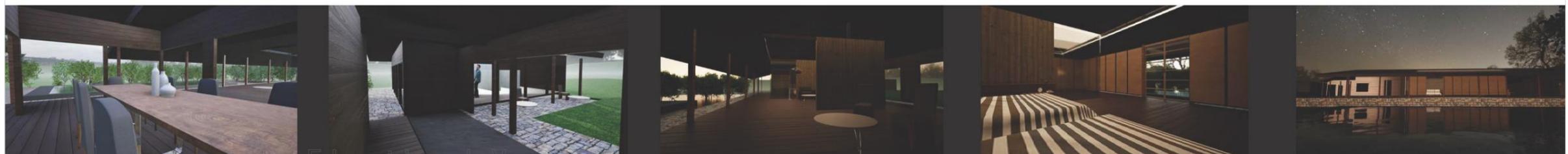
図書スペースとして設計
公民館と繋がっていた遊戯室は

周りの景色や星空を映す水盤とした
プールのあった場所は有効活用し

開放感のあるリビング・ダイニングで食事
厨房で食材を調理し

芝生と室内空間をつなげる
土間空間は全体をまとめつつ

開放感と自然との一体感を演出
プール側の壁を取り払い



アイデア賞

コトウラのウラコト

～デジタルでつなぐ拠点～

鳥取大学

山本陸渡 小野田文香

コトウラのウラコト
～デジタルでつなぐ拠点～

ウラコト（裏事）とは...
高齢化が進むコトウラの課題を減らし、高齢者が便利で快適に暮らせるように裏で事業を行う拠点という意味。

01. 零浦町の現状・課題

02. コンセプト

03. ウラコト拠点の取組み

配置図

平面図

デジタル講習会

貸し出しスペース

スーパーマーケット

オンライン診療室

古布庄まちづくり協議会会長賞

ドライブイン 古布庄

鳥取県立産業人材育成センター

寺嶋由希子

ドライブイン 古布庄

コンセプト

暑い日、涼める場所があるとホッとする
寒い日、暖かいものが食べられるとホッとする
夜中、明るい場所があるとホッとする
大好きな車で安心して休める場所があるとホッとする
そんな場所になりたいなと思い計画しました。

地域特性

海から山まで自然豊かな史跡や観光地がたくさん
県内有効の農畜産物や新鮮で安全な物が食べられる
県内町村の中でトップの事業所数、製造品出荷額を誇る。
中でも食品製造業が多く立地している
元気なお客が多い

課題

地元産物を買える場所が少ない
地元産物を消費する機会が少ない

運用方法

- ・地域のこどもの遊び場
- ・農作業時の休憩の場
- ・観光に来た人の休憩、食事、お土産購入の場
- ・地元産品の販売場所（野菜、地酒、お米）
- ・交流の場
- ・ペットと一緒に来れる場所（ドッグランあり）
- ・周辺駐車場の駐車場
- ・車中泊OKの駐車場（火を使わない調理、キャンプNG）
- ・町内イベントの場（星空観察、夏まつり、野外上映会、夜市 他）

運用方法

- ・自販機の清掃、在庫確認、仕入れ
- 古布庄まちづくり協議会さん
カフェみなくらの経験を活かして
地元産物使用
- ・うどん、そば、ラーメン、おにぎり、みそ汁 製造
- 零浦町シルバー人材センターさんと協力
60歳以上の健康で働く意欲のある方
- ・車中泊 外部電源（100V）使用時 300円
備え付けの料金箱に入れてもらう
- ・駐車場、芝生
イベント 1日 3,000円 祭町内企画イベントは除く

自販機情報

- パン自販機（地元パン屋さんが作ったものもあり）
おにぎり自販機
お菓子の自販機
- かき氷の自販機
みそ汁の自販機
そば・うどん・ラーメン自販機
ハンバーガー
トーストサンド
- 昔使われていた自販機
レトロ自販機と買われ
実は人気がある

① ②

古布庄まちづくり協議会様より

この度は、鳥取県建築士会、青年・女性委員会主催の学生デザインコンペティション「空き家の利活用」の開催、おめでとうございます。また、最終選考会の会場に、当地をご指名いただき、大変光栄に存じます。

今回出展された作品は、何れも斬新かつ繊細に描かれ、全国で増加し続ける空き家の利活用に光を当てた大変有益な取り組みであると痛感いたしました。現在、全国規模で地方創生について活発な議論が交わされていますが、疲弊する地方を再生するためには、人材の確保に加え、その活動拠点となる施設の整備が不可欠であり、今回の作品は大変参考となる内容ではないかと思えます。今後、こうしたアイデアが広く社会に普及し、実用化される事を期待しています。

終わりに、コンペに応募された学生の皆様、並びに開催にご尽力いただいた建築士会他、関係各位のご健勝と、ますますのご活躍をご記念申し上げます。



古布庄まちづくり協議会 会長 馬野 忠篤

最優秀賞



ふれあいと癒しの舎 “思いっきりくつろぎ、思いっきり活動する”

国立米子工業高等専門学校
武良悠花 金森環莉
田原里桜 野津一香

優秀賞



KOUNOSYOU コラボ アート集落プロジェクト始動!

鳥取県立産業人材育成センター
渡部清空 田中瑞紀

優秀賞



生活に潤いを注ぐ Calm Lab. -心穏やかにできる あなたの研究室-

鳥取県立産業人材育成センター
幅田沙織

奨励賞

地域
特別賞



トットリート

鳥取県立産業人材育成センター
金田みずき

奨励賞



星のリゾート 琴の浦 ～星を観る滞在型宿泊施設～

鳥取大学
山本優馬 宮崎雄大

奨励賞



工匠の家 -鳥取から始まる新しい林業の在り方-

鳥取大学
小板橋良徳 後藤玲太

奨励賞



風薫る庵

国立米子工業高等専門学校
池田真之介

アイデア賞



コトウラのウラコト ～デジタルでつなぐ拠点～

鳥取大学
山本陸渡 小野田文香

協議会
会長賞



ドライブイン 古布庄

鳥取県立産業人材育成センター
寺嶋由希子



琴整湯(こととのゆ) ～サウナで活性化 サウナの町～

鳥取大学
前田幹太 土廣来斗



LUNA of KOTOURA ～宇宙食で地域活性化～

鳥取大学
横田泰之 岸本歩



お試し琴浦 ～第一次産業体験で農業従事者向け～

鳥取大学
川口実結 種井優斗



ステインシアター ～泊まれる映画館～

鳥取大学
神戸朝陽 高島大樹



琴チル ～職業体験型テーマパーク～

鳥取大学
石田氷輝 本間英二

Collection List 応募作品一覧



琴飲み ～昔懐かし縁日居酒屋～

鳥取大学
扇谷栄至 竹内英希
カンコスブガイヌファイサ



ひととき ～誰もがくつろげる空間～

鳥取短期大学
後藤七海 鍛冶木涼花



あつまれ ことうらの森

国立米子工業高等専門学校
小澤航輝 黒多翼
近田光希 谷本光哉



昼夜逆転ホテル ～よるはましとり、ひるはまねね～

国立米子工業高等専門学校
小島菜緒 竹下みらん
藤原愛理 鷲田奈々



Fly Bird ～ドローンを身近に感じる施設～

鳥取県立産業人材育成センター
金田三嘉



琴の星庭 ～星が輝くときにのびのびと取戻場所～

鳥取県立産業人材育成センター
谷野雪月

2024/10/20 (sun) 16:00~



予選：米子市公会堂

Judgment Method 審査方法

鳥取県内の建築系あるいは住居系の学生から20作品の応募がありました。10月の予選において、ポスターにより審査員より本選に選出された7作品に加え、発想が特に高く評価された「アイデア賞」も選定しました。

11月の本審査は、パワーポイントや模型を用いた7分間のプレゼンにより、審査されました。審査項目は①コンセプト、②デザイン(独創性・審美性)、③プランニング(課題の反映・実現可能性)、④プレゼンテーション力(まとめ方・発表)の4項目です。最優秀賞、優秀賞などを決定しました。また、施設管理者の古布庄まちづくり協議会様より「同会会長賞」を選定表彰いただきました。

(一社)鳥取県建築士会 女性委員長 内田 恵子 青年委員長 南波 一好

2024/11/10 (sun) 13:00~16:00



本選：古布庄地区公民館 (旧古布庄保育園・設計対象物件)

Overall Review 全体講評

今年は課題となる建物を現在は公民館として利用されている琴浦町古布庄地区の旧保育施設に題材を絞っての募集とし、かつ最終審査の会場をまさしくその題材となる古布庄地区公民館で行われました。

参加してくれた学生達は地域の美しい風景や自然環境を活かしつつ地域の活性化に少しでも役立つものにと、あるものはただ一人だけの為の宿、またあるものは林業の衰退に歯止めをかけようとし、またあるものは癒しにフォーカスするなど、それぞれに特徴のある甲乙つけがたい作品が応募されました。

審査委員長 長谷川 義明